

タブレット端末で創る新しい授業のかたち
— 「ページめくり機」から「知識構築促進メディア」への飛躍に向けて(2)—

オーガナイザ :

長谷川忍 (北陸先端科学技術大学院大学), 柏原昭博 (電気通信大学), 平嶋宗 (広島大学)

タブレット端末は、授業の形を大きく変える可能性を持っている。単に便利になるというだけではなく、タブレット端末を用いるからこそできる授業というものがあえるはずである。本ワークショップの目的は、タブレット端末を教室に持ち込むことによって可能となる新しい授業の形を探ることである。コンピュータを用いた学習支援に関する研究は、これまでも盛んに行われてきており、ある程度の成功を収めているといえる。しかしながら、自宅での利用であったり、学校内であってもコンピュータ室におけるいわば特殊な形態での利用であった。これらに対して、タブレット端末は教室に持ち込み、個々の机の上で用いることができる。つまり、日常的な授業が行われている教室においてその授業の中で活用が可能な道具であるといえる。タブレット端末が教室に導入されるということは、多くの教授者にこの道具を活用する環境が提供されるということであるとともに、それらを授業において使いこなす義務を教授者に負わせることになるであろう。フューチャースクールやICT 絆プロジェクトなど、教室へのタブレット端末導入の試みが始まっており、近い将来にタブレット端末が導入された教育現場は特殊なものではなくなるであろう。このような状況を踏まえれば、本学会がタブレット端末を生かした新しい授業の形をテーマとしたワークショップを開催することの意義は大きいといえる。なお、本ワークショップは2011年度本学会全国大会において開催されたワークショップ「教室におけるメディアタブレットの未来像—「ページめくり機」から「知識構築促進メディア」への飛躍に向けて—」を引き継いで行われるものである。

■ 開催日時 : 8月22日 (水) 9:00~11:50

■ 内容

09:00-09:05 趣旨説明

長谷川 忍 (北陸先端科学技術大学院大学)

09:05-09:25 「概念マップ作成における擬似力覚の導入とその効果」

塩田剛, 柏原昭博 (電気通信大学)

09:25-09:45 「韓国語教育におけるタブレット端末用の教材開発とその評価について」

金義鎮 (東北学院大学)

09:45-10:05 「タブレット端末の利用による作問学習支援システムの一般授業への導入」

山元翔, 神戸健寛, 吉田祐太 (広島大学), 前田一誠 (広島大学附属小学校), 平嶋宗 (広島大学)

10:05-10:25 「タブレット端末を利用した Kit-Build 概念マップの運用方法とその実践報告」

仁野由彬, 杉原康太, 森山将吾, 石田耕平, 長田卓哉, 水田曜平, 平嶋宗, 舟生日出男 (広島大学)

10:25-10:40 <休憩>

10:40-11:00 「フューチャースクール推進事業における協働教育プラットフォームの活用事例について」

後藤達也 (NTT コミュニケーションズ株式会社)

11:00-11:20 「横浜国立大学附属横浜中学校のフューチャースクール推進事業・学びのイノベーション推進事業への取組みにおけるタブレット PC の利活用」

大内広之 (横浜国立大学)

11:20-11:50 <ディスカッション>